

大松

至誠 剛健 協同

香美町立香住小学校 学校だより
(令和3年9月13日号) No. 25



学校生活アンケート（児童）結果について

7月に全校児童を対象にした学校生活アンケートを実施しました。その結果について以下にお示しします。この学校生活アンケートは、学習面や生活面の目標に対して子どもたちに自己評価をさせ、今後の学校生活に活かしてほしいという願いがあります。また、教職員にはこれまでの指導や支援をふりかえり、今後に向けた改善を図るという目的があります。

(全校平均値 ※5点満点)

- ① 『学習の約束』は、守れていますか。 4.7
- ② 教室にある『話す』『聞く』のルールを意識してとりくんでいますか。 4.4
- ③ スキルタイム(13:45~13:55)は、集中してとりくんでいますか。 4.8
- ④ 外国語、外国語活動は、たのしいですか。 4.7
- ⑤ 外国語、外国語活動の時、自分から話そうとしていますか。 4.1
- ⑥ 道徳科の時間に、自分の考えを発表し、ふりかえり活動もできていますか。 4.1
- ⑦ ペア学年の活動(グッドフレンドタイムなど)は、楽しいですか。 4.5
- ⑧ 学校をみんなできれいにできていますか。 4.6
- ⑨ 『あんぜん、あいさつ、あとしまつ』に気をつけていますか。 4.5
- ⑩ 休み時間や放課後など、体を動かして遊んでいますか。 4.4
- ⑪ 体育の時間は、いっしょうけんめい体を動かしていますか。 4.7
- ⑫ 朝読書や読書の時間に、集中して読書をしていますか。 4.4
- ⑬ 読書がすきで、家でも学校でも自分から読書をしていますか。 3.7
- ⑭ 『早寝・早起き・朝ごはん』に気をつけていますか。 4.3
- ⑮ 家庭学習を目標設定以上、続けて取り組んでいますか。 4.4



【考察】

全体として、児童の自己評価は高いと言えます。特に、「スキルタイム」の数値が高くなっています。たしかに一生懸命に漢字練習に励んでいる様子をよく見ます。今後もこの姿勢を大切にしてほしいです。「学習の約束」についての意識も高いです。日常の授業を覗くと、仲間とともに協同学習をしている様子をよく見かけます。一定の学習規律がないとなかなかうまく出来ないことです。「外国語、外国語活動」に対する意欲や満足度も高いです。小学校に外国語・外国語活動が導入されてまだ年数は浅いですが、確実に軌道に乗ってきたと言えます。体育の時間に一生懸命体を動かす意欲は香住小学校の児童の大きな特長と言えます。今後も元気いっぱい体を動かす児童であってほしいと思います。「ペア学年の活動」を楽しんでいる児童も多いようです。1学期のペア遠足の印象が強いのかもかもしれません。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、異学年交流を現在自重しています。「3つのあ」については、数値は4.5と高いのですが、「あいさつ」についてやや物足りなさを感じる人が多いです。さて、気になるのは、「読書」についてです。どうやら読書を好む児童があまり多くないようです。読書は学力向上の基礎であると同時に、豊かな人間性を育む上で重要であるとよく言われます。けっして難しい本を読む必要はありません。まずは、楽しそうな本をぺらぺらとめくってみるだけでも良いと思います。思わぬ出会いがあるかもしれません。



校内夏季作品展

香住小学校HPもご覧ください



夏休みの作品を体育館に展示して「校内夏季作品展」を開催しました。本来であれば、保護者の皆様にもご覧いただく予定で計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から児童のみの鑑賞とさせていただきます。たいへん申し訳ありませんでした。

【9月8日（水）の全校朝会（校内テレビ放送方式）校長講話骨子】



作品を見て印象に残ったのは、ふるさと香住を美しく表現してくれた絵画がたいへん多かったことです。海、魚、船、列車等を描いた香住らしい作品に胸を打たれました。また、但馬牛、こうのとり、昆虫、草花、野菜等を描いた作品もあり、但馬に住む子供らしい作品だなあと心が和みました。また、交通安全や火災予防、コロナ差別をはじめとする各種人権課題等、生きていく上で大切な事柄を表現したポスターも印象に残りました。工作では、東京オリンピックや東京パラリンピックをテーマにしたものがあったことは“今年ならでは”という思いがしました。工作にも香住の海や香住の風景を表現したものが多く、ふるさと香住を大切に思う気持ちはいつまでも持ち続けてほしいと思いました。工作の作品には木で作ったかなり大きなものや、布で作った袋やティッシュカバー、布と綿でつくったクッションなど実際の生活ですぐにでも使えそうなものが多くあり、これもたいへん印象に残りました。もちろん、部屋に飾っておきたいような小さな作品やアイデアを凝らした貯金箱、それから遊びに使えそうなおもちゃとかゲームのような作品なども素晴らしかったと思います。書道の作品についての印象ですが、“とめるところはとめる”、“はねるところははねる”などの基本が出来ている作品が多くて感心しました。それができていると文字が力強くなります。おそらく、納得できるまで何度も何度も書き直しをしたのではないかと思います。理科の自由研究についてですが、天気、アイスクリーム、氷、食べ物の種などごく身近にある題材に目を向けて、その上で抱いた素朴な疑問を自分の手でなんとか解決しようという力作ばかりでした。きっと時間をかけて根気強く調べ上げたのであろうと思います。

今回は、どれが上手であるか、どれが下手であるかではなく、みなさんがどんな物をつくらうとしたか、何を表現しようとしたかに目を向けて作品を見させていただきましたが、ひとつとして同じ作品はなく、本当にひとりひとりの個性が表れた作品展になったと思います。みんなが頭を使って、手を使って、足を使って、耳を使って、目を使って・・・、時にはご家族の方の意見も聞きながら丁寧に作品を仕上げていった様子が目に浮かぶようでした。きっと、この様子だと良い2学期になりそうな気がします。